



UN-HABITAT ROAP-FUKUOKA

(Regional Office for Asia and the Pacific)

国連人間居住計画（ハビタット）福岡本部（アジア太平洋担当）

2009年6月24日

モンゴルにおける居住改善事業について（広報資料）

国連人間居住計画（ハビタット）福岡本部 野田本部長は、6月24日（水）、モンゴル国ウランバートル市において、城所卓雄在モンゴル日本国特命全権大使と日本政府のコミュニティ開発支援無償資金協力事業「ゲル地区生活環境改善計画（the Project for Community-Led Ger Area Upgrading in Ulaanbaatar City）」に関する交換公文に署名した。日本政府からの支援額は約5億6千万円である。事業実施においては、独立行政法人国際協力機構（JICA）等と密に連携をとって行う。

事業名： ゲル地区生活環境改善計画
対象地域： ウランバートル市郊外の5ゲル地区
事業費： 561,000,000円
主な事業内容： * 水供給設備や公共サービスセンターの整備、周辺インフラの整備等を通じた対象地区の生活環境改善。
* 事業実施に地区住民の参加を促し、コミュニティ全体の活性化。

実施期間： 2年（予定）

ウランバートル市では、過去10年の間に人口が2倍の100万人以上となった。新しく移住してきた人々は、ウランバートル市郊外のゲル地区に定住しており、市人口の60%はゲル地区に住んでいる。

人々は水資源を地下水に頼っているが、上下水の給排水や周辺設備の未整備に加え、都市部ゲル地区への急速な人口流入によって水供給が非常に困難となっている。また、水質が悪化し下痢等の病気も急増している。国連ハビタットは、住民主体のプロジェクトを通じて水・衛生設備の整備等を行い、人々が安全・安心に暮らせる環境を整備する。

注）ゲル地区とは、ウランバートル市郊外でモンゴルの伝統的居住様式（テント）が中心となって出来上がった居住地区。貧困層が多く住む。

本件ご照会先：
国連人間居住計画（ハビタット）
福岡本部（アジア太平洋担当）（担当：熊谷）
Tel：092-724-7121 Fax：092-724-7124